



# 美しい 県土づくりNEWS

2022年

9月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第217号  
令和4年9月30日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 「いわて復興道路フェスタ～岩手がもっと、近くなる！～」を開催しました！
- 4 令和4年8月豪雨による被害状況について
- 6 「にっぽん丸」 宮古港・久慈港へ同日寄港!!
- 7 汚水処理事業広域化・共同化計画を策定しました！
- 8 令和4年度「建設業地域懇談会」を開催しました！
- 9 省エネルギー住宅技術普及促進支援セミナーを開催しました！
- 11 【事業紹介】岩手山の噴火対応を目的とした「火山砂防事業」について

# 三陸復興

## 「いわて復興道路フェスタ

## ～岩手がもっと、近くなる！～」を開催！



トークセッションの様子 写真(左から)：ふじポンさん、達増 拓也知事、女優 小松 彩夏さん、  
宮古市地域おこし協力隊(笹原 爽志さん、八島 悟さん)

# 『いわて復興道路フェスタ ～岩手がもっと、近くなる！～』を開催しました！

令和4年8月27日（土）、宮古市で「いわて復興道路フェスタ～岩手がもっと、近くなる！～」を開催しました。

このイベントは、復興道路の整備効果や観光・食などの沿線の魅力を発信することで、復興道路の更なる利活用促進を図るとともに、これまでの県内外からの復興への支援に対し、改めて感謝の意を表することを目的に開催したものです。

当日は、屋外イベント約 1,400 人、屋内イベント約 100 人の来場者に対して、復興道路クイズ大会やトークセッションなどを通じて、復興道路の整備効果や沿線の魅力を発信しました。

## いわての復興道路

復興道路は、国が東日本大震災津波からの復興のリーディングプロジェクトとして整備した高規格道路で、岩手県内は三陸沿岸道路、釜石自動車道、宮古盛岡横断道路の3路線です。県内総延長は 359km にも及び、発災から 10 年目の令和3年 12 月 18 日に全線開通しました。

**いわて復興道路フェスタ**  
～岩手がもっと、近くなる！～  
2022 8/27(土) 入場無料  
※お家のお客様 先着359名様に「イカ王子のデジタル診療」をプレゼント!

**屋外会場** 宮古駅前広場 10:30～15:00  
復興道路パネル展、VR体験(復興道路上空さんぽ)無料  
復興道路沿線のうまいもの市

10:30 オープニングセレモニー(山本市長の出席)  
10:55 来場者プレゼント配布  
11:05 宮古小学校児童による合唱披露  
11:30 復興道路沿線のゆるキャラ集合  
11:55 鉄神ガンライザー撮影会  
12:00～12:55 **アツアツ祭り** 特別番組公開放送  
13:00～ 屋内イベント中継

**屋内会場** 事前予約制 イーストピアみやこ 多目的ホール 13:00～14:30  
13:00 オープニングセレモニー(みやこ市民劇ファクトリー)  
13:30 復興道路の概要紹介(バネリス)  
13:50 女優のんからのビデオメッセージ(小松彩夏さん)  
14:00 トークセッション(コトチネーター)及びパネルディスカッション(小松彩夏さん)

イベントの様子は屋外会場設置の映像車またはYouTubeでのLIVE配信で見られます!  
YouTubeでのLIVE配信はこちら!

主催: 岩手県 (共催) 宮古市  
協賛: 三陸防災復興プロジェクト 311 ROAD  
TEL: 019-629-8688 FAX: 019-629-9124

## ▲いわて復興道路フェスタチラシ

## いわて復興道路フェスタの概要

- 1 日時: 令和4年8月27日(土) 10:30～15:00(屋内イベント 13:00～14:30)
- 2 場所: 岩手県宮古市(屋外会場: 宮古駅前広場、屋内会場: イーストピアみやこ多目的ホール)
- 3 主催: 岩手県(共催: 宮古市)
- 4 後援: 東北地方整備局、三陸地区国道協議会、(一財)3.11 伝承ロード、マスコミ各社
- 5 内容

### ○屋外イベント

復興道路沿線のうまいもの市、復興道路 PR ブース(VR 体験)  
宮古市長による開会宣言、復興道路沿線のゆるキャラ集合(復興道路クイズ大会)等

### ○屋内イベント

オープニングセレモニー(みやこ市民劇ファクトリーによる演劇)  
トークセッション<テーマ～復興道路の利便性、三陸の魅力～> 等  
(出演者: 達増知事、女優 小松彩夏さん、宮古市地域おこし協力隊)

屋内イベントの様子は YouTube で見れます!  
岩手県公式動画 CH▶

## いわて復興道路フェスタの開会



◀宮古市を拠点に活動する和太鼓団体「山口太鼓の会」によるオープニングセレモニー



◀山本宮古市長によるフェスタ開会宣言

復興道路沿線のゆるキャラ集合～復興道路クイズ大会～

復興道路沿線のゆるキャラが集合し、復興道路に関するクイズ大会を開催しました。訪れた子どもたちは、楽しみながら復興道路の特徴などを学びました。正解者には、出題したゆるキャラから地元名産品がプレゼントされました。

復興道路沿線のゆるキャラたち  
 左から、うにっち(岩手県)、たかたのゆめちゃん(陸前高田市)  
 おおふなトン(大船渡市)、かまりん(釜石市)  
 サーモンくん・みやこちゃん(宮古市)、アマリン(久慈市)



復興道路沿線のうまいもの市

宮古市のタラフライや大船渡市の蒸しがきなど、復興道路沿線の名産品を集めた「復興道路沿線のうまいもの市」を開催しました。

また、県内の復興道路の総延長 359km にちなんで、来場者先着 359 名に「イカ王子のダジャレ珍味」がプレゼントされました。

物販ブースの様子▶



みやこ市民劇ファクトリー～屋内オープニングセレモニー～

屋内イベントのオープニングセレモニーとして、宮古市から演劇文化を発信している「みやこ市民劇ファクトリー」の皆様、復興道路にちなんだ題目「鞭牛和尚の挑戦」誕生秘話～拓け、いのちの道を！～を披露していただきました。

演劇のフィナーレ▶



トークセッション<テーマ～復興道路の利便性、三陸の魅力～>

【コーディネーター】ふじポン さん  
 【パネリストの主な発言内容】

達増 拓也 (岩手県知事)

復興道路は、空を飛ぶような橋、ワープするようなトンネルによって異次元の移動・交流を可能にし、今までできなかったことができるようになる。

小松 彩夏さん (女優 一関市出)

復興道路で様々な観光地へ快適にドライブできる。SNS 等で魅力を発信し、岩手を訪れるきっかけをつくりたい。

笹原 爽志さん (宮古市地域おこし協力隊)

宮古は森・川・海が一つの街に集約されていることが魅力。復興道路によって人と人の新たな交流の促進を期待。

八島 悟さん (宮古市地域おこし協力隊)

宮古の魅力は新鮮な海の幸を始めとする食べ物。県内外の宮古への移住希望者に向けて魅力を発信し、宮古を好きになってもらいたい。



▲ トークセッションの様子  
 左から、ふじポンさん、達増知事、小松さん、笹原さん、八島さん



# 令和4年8月豪雨による被害状況について

令和4年8月の豪雨により、岩手県内で堤防越水・溢水等による家屋等の浸水被害、道路や河川等の公共土木施設に多数の被害が発生しました。

## 1 大雨等による被害状況

### (1) 気象の概況

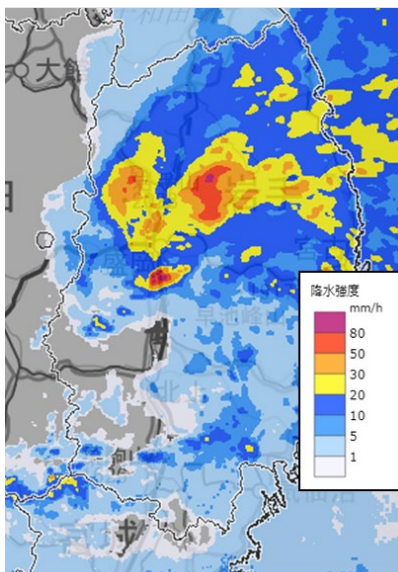
#### ○ 令和4年8月3日の大雨〔出典：盛岡地方気象台発表資料〕

前線上の低気圧が3日朝から昼過ぎにかけて東北地方を通過しました。前線や低気圧に向かって、台風第6号を起源とする暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となりました。

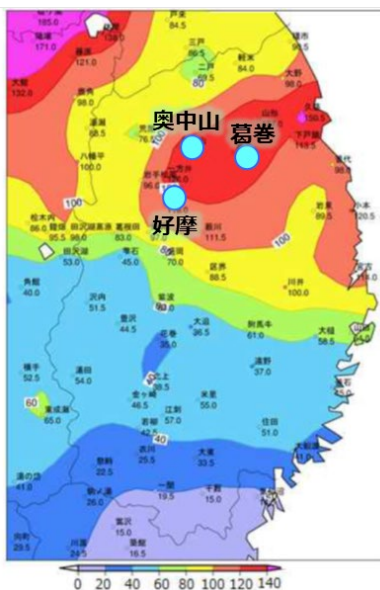
2日夜から降り始めた雨は、3日未明から次第に強まり、明け方から昼過ぎにかけて激しい雨となりました。内陸では盛岡市薮川で最大1時間降水量57.5ミリ、盛岡市好摩で51.5ミリを観測するなど局地的に非常に激しい雨となり、また、一戸町奥中山では最大1時間降水量42.5ミリを観測し、通年として観測史上1位を更新しました。

2日18時から3日18時までの降水量は、久慈150.5ミリ、葛巻140.0ミリ、久慈市山形137.0ミリ、一戸町奥中山129.5ミリなど、盛岡地域、二戸地域、久慈地域、宮古地域を中心に大雨となり、葛巻、盛岡市好摩における日降水量は8月として観測史上1位を更新するなど記録的なものとなりました。

レーダー観測雨量  
(期間：3日12時時点)



総降水量分布図 (mm)  
(期間：2日18時～3日18時)



主な地点の最大1時間降水量  
(期間：2日～3日)

地点名	値(起時)
薮川(盛岡市)	57.5(3日11時48分)
好摩(盛岡市)	51.5(3日11時32分)
奥中山(一戸町)	42.5(3日10時42分)
滝沢(滝沢市)	40.5(3日11時29分)
山形(久慈市)	38.0(3日11時20分)
葛巻(葛巻町)	35.5(3日07時36分)
荒屋(八幡平市)	32.0(3日09時19分)
岩手松尾(八幡平市)	32.0(3日11時16分)
軽米(軽米町)	31.0(3日08時00分)
久慈(久慈市)	30.5(3日09時08分)

主な地点の総降水量  
(期間：2日18時～3日18時)

地点名	値
久慈(久慈市)	150.5
葛巻(葛巻町)	140.0
山形(久慈市)	137.0
奥中山(一戸町)	129.5
一方井(岩手町)	126.0
小本(岩泉町)	120.5
好摩(盛岡市)	116.0
宮古(宮古市)	114.0
下戸鎖(久慈市)	113.5
薮川(盛岡市)	111.5
川井(宮古市)	100.0



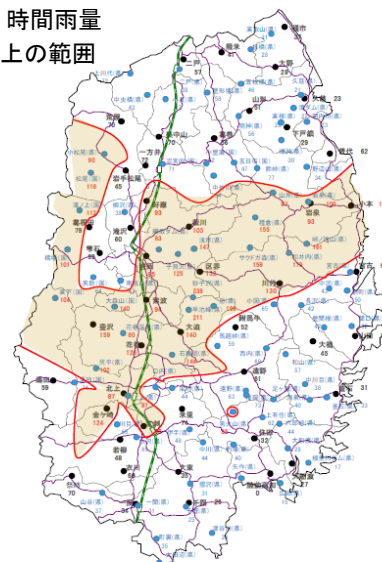
一級河川馬淵川岩根橋(一戸町)  
(3日12時時点)

○ 令和4年8月11日から14日の大雨

8日には再び前線が北日本にのびて停滞し、13日にかけて北海道地方や東北北部で大雨となり、北海道地方や青森県では記録的な大雨となりました。また、13日は伊豆半島に上陸した台風第8号の影響で、東日本太平洋側を中心に大雨となりました。14日は全国的に大気の状態が不安定となり、所々で猛烈な雨が降りました。

県内では最大24時間雨量が80mm以上及び最大時間雨量が20mm以上となる豪雨を観測しました。

最大24時間雨量  
80mm以上の範囲



(2) 岩手県における被害状況

○ 人的・物的被害状況（令和4年9月2日現在）〔出典：内閣府資料〕

- ・ 死者1名
- ・ 住家の床上浸水12棟、床下浸水44棟

○ 公共土木施設等の被害（令和4年8月31日現在）※

- ・ 令和4年8月3日の大雨：238箇所
- ・ 令和4年8月11日から14日の大雨：30箇所

※ 上記の箇所数については確定値でないもの。



町道小繫平糠線小繫地内（一戸町）



県道佐比内彦部線松田地内（紫波町）

2 大雨等による災害についての激甚災害の指定等

○ 激甚災害に指定（内閣府）

内閣府は、令和4年8月3日からの大雨等による災害について、地方公共団体や関係省庁等による被害状況調査の結果を踏まえ、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく激甚災害に指定し、国庫補助率の嵩上げ等の措置を適用する見込みであることを公表しました。国において、激甚災害として指定する政令の制定に向けた手続きを進めています。

○ 災害査定の手続きを効率化（国土交通省）

激甚災害の指定の事前公表を受け、国土交通省では被災した公共土木施設について、災害査定に要する期間等を大幅に縮減する「大規模災害時の災害査定効率化（簡素化）及び事前ルール」を適用し災害査定の手続きの効率化を実施することとしています。

# 「にっぽん丸」宮古港・久慈港へ同日寄港!!

港湾課



久慈市提供

8月22日(月)、商船三井客船㈱が運航するクルーズ船「にっぽん丸(全長166.6m、総トン数22,472ト、乗客定員524人)」が宮古港及び久慈港に寄港しました。久慈港へのクルーズ船の寄港は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年7月以来、約3年ぶりとなりました。

にっぽん丸は乗客・乗員約400名を乗せて、午前8時頃に宮古港藤原岸壁に着岸し、関係機関の職員等が横断幕や大漁旗で寄港を歓迎しました。

宮古港で下船し、オプションツアーに参加した乗客は、バスや三陸鉄道で三陸観光を楽しみながら久慈港へ向かいました。

午前11時に宮古港を出港し、午後4時半に久慈港に入港したにっぽん丸は、三陸の旅を満喫した乗客を乗せ、函館港へ向け、午後6時半に出港しました。

今年度の県内港湾へのクルーズ船の寄港回数は、コロナ感染拡大前の水準に戻りつつあり、県では、今後も港湾所在市や関係機関との連携により感染防止対策へ配慮しながら、安心・安全な寄港受入に努めていきます。



大漁旗や横断幕で寄港を歓迎(宮古港)



出発を待つツアーバス(宮古港)



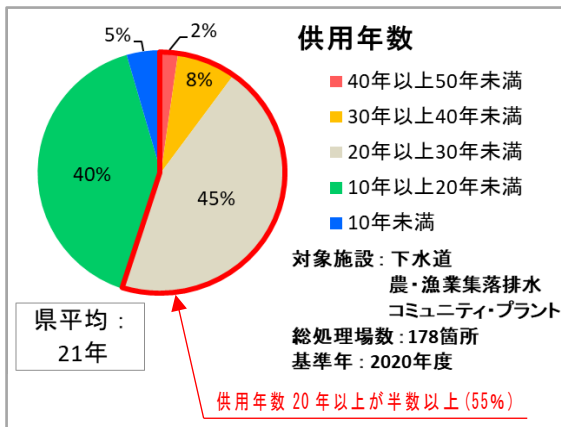
函館港へ向け出港したにっぽん丸(久慈港)

久慈市提供

# 汚水処理事業広域化・共同化計画を策定しました！

下水環境課

汚水処理については、人口減少に伴う使用料収入の減少、職員数の減少による執行体制の脆弱化、施設等の老朽化に伴う大量更新期の到来等によりその経営環境は厳しさを増しており、効率的な事業運営が一層求められている状況です。



県では、平成30年度から、県の行政区分、流域下水道の処理区分、維持管理及び地形等に基づき県内を8ブロックに分け、広域化・共同化の具体的な取組の検討を重ねてきましたが、令和4年8月に汚水処理事業の持続可能な事業運営を推進するための広域的な取組方針となる、岩手県汚水処理事業広域化・共同化計画を策定しました。

検討作業部会 のべ49回開催 (H30~R3)



【検討作業部会の状況】

【県内の供用年数別処理場数割合】

今後は、県、市町村、関係機関が連携・協力し、施設の統廃合や事業の効率化を図り、持続可能な汚水処理事業の推進に向け取り組んでいきます。

### 広域化・共同化計画の取組項目

取組項目	主な内容	取組数 (取組市町村)
① 汚水処理施設の統廃合	農業集落排水から公共下水道への接続や農業集落排水間の接続等による処理場の統廃合に取り組む 	69箇所 (15市町)
② 汚泥処理の共同化	移動脱水車の共同運用や汚泥の集約運搬処理等、効率的な汚泥処理に取り組む	4グループ (11市町村)
③ 処理場等の維持管理の共同化	処理場・ポンプ場の維持管理業務の共同発注等に取り組む	3グループ (9市町村)
④ システム整備等の維持管理の共同化	管路・設備台帳システム、ストックマネジメント計画の共同発注等に取り組む	6グループ (15市町村)
⑤ ソフト面の共同化	職員研修等の人材育成や災害時対応を見据えた防災訓練等に取り組む	8グループ (33市町村)

計画の詳細は、[岩手県公式ホームページ](#)でご確認ください。

[トップページ](#) > [県土づくり](#) > [都市計画](#) > [下水道](#) > [下水道](#) > [岩手県の汚水処理](#) > [岩手県汚水処理事業広域化・共同化計画](#) からご確認ください。

## 令和4年度「建設業地域懇談会」を開催しました

### 建設技術振興課

県は、建設業の振興と公共事業の円滑な執行に資することを目的として、建設業協会の支部ごとに、建設業団体との懇談会を開催しています。

今年度は7月12日(火)の岩泉地区を皮切りに、8月30日(火)の盛岡地区まで全13地区で開催しました。建設業地域懇談会で出された意見については、次期建設業振興中期プランや県の施策の検討に活用していきます。

#### 1 意見等について

##### (1) 意見交換のテーマ

いわて建設業振興中期プランについて

##### (2) 主な意見

懇談会では、「建設投資額の確保」に関する意見をはじめとして、「CCUS（建設キャリアアップシステム）」「ICT」「設計積算」等に関する意見も多数寄せられました。

- ・仕事量が十分にあれば、CCUS、週休2日制などの働き方改革のほか、人材育成、設備投資などいろんなことに挑戦できる。このままでは、地域の守り手である建設業の役割を果たせない。
- ・技能者の評価は経験年数だけで行うものではない。CCUSの技能レベル評価の仕組みが分かりづらい。
- ・県営建設工事のICTモデル工事は、ICTに取り組みやすい。
- ・能力のある若い人材が希望をもって働ける環境となるよう官民一体で取り組む必要がある。
- ・ウクライナ危機の影響などによる物価上昇も課題であるが、資材自体が納品されない状況がある。物価上昇に伴う工期や設計変更に対応してもらいたい。

#### 2 意見に対する県の主な回答要旨

- ・建設投資額の確保については、復旧・復興工事の終了に伴い、全体的な工事量が減少している。厳しい財政状況ではあるが、国の5か年加速化対策事業等を活用しながら、事業量の確保に努めていく。
- ・CCUSモデル工事の実施やICT活用工事における発注者指定型選定要件の段階的拡大等を進めるとともに、これらの取組の理解促進を図り、普及拡大につなげていきたい。
- ・若者・女性等の入職促進のため、いかにして建設業の魅力を伝えていくか、建設業界と連携して取り組んでいく。
- ・適切な工事の設計変更については、今後も各種研修会を通じて「設計変更ガイドライン」や「監督員マニュアル」の周知徹底を行っていく。

### 建設業地域懇談会の様子



花巻地区(花巻高等職業訓練校)



遠野地区(遠野地区合同庁舎)



# 省エネルギー住宅技術普及促進支援セミナーを開催しました！

建築住宅課

令和4年9月15日(木)、盛岡市内において、**建築士等(設計事務所、工務店等の従業員)**を対象に、「省エネルギー住宅技術普及促進支援セミナー」を開催し、**約80名の方**にご参加いただきました。

本セミナーは、**脱炭素社会の実現**に向けて国で示す住宅の省エネ対策に対応するため、**県内の建築士等の省エネ技術の向上を図ることにより、住宅の省エネ化を促進すること**を目的として実施しました。

冒頭では、「建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律の改正」について説明し、その後、「簡易計算ルート(外皮面積を用いない方法)による省エネ基準に適合させる手法の習得」について説明しました。

法改正の内容及び省エネ基準への適合手法を良く理解できたなど、**多くの参加者から非常に参考になった**という声をいただきました。

## 【セミナーの内容】

### < (第1部) 建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律の改正 >

『講師：岩手県 県土整備部 建築住宅課』

- ・ 建築確認・検査の対象となる建築物の規模等の見直し

### < (第2部) テキスト講習 >

『講師：株式会社プレスト建築研究所 久保田 博之 氏』

- ・ 省エネ基準の現状と今後の最新情報
- ・ 住宅の省エネ基準と評価方法の種類
- ・ 部位の熱貫流率と窓の日射熱取得率の求め方
- ・ 簡易計算ルートのWebプログラムへの入力方法
- ・ 一次エネルギー消費量プログラムの入力方法



▲ 受講状況 (第2部)

# いわて住まいのカーボンニュートラル推進事業

県では、住宅部門からの温室効果ガスの削減と現在お住まいの住宅の居住環境の向上を図るため、「既存住宅の省エネ化」に対する支援を実施しています。

## 住まいの省エネルギー改修推進事業補助金

### 【支援内容】

- ・省エネ診断 : 最大150千円/件  
既存住宅の省エネ性能の調査・診断への補助
- ・省エネ設計等 : 最大300千円/件  
既存住宅の省エネ改修に向けた設計等への補助
- ・省エネ改修 : 最大1,025千円/件(ZEH水準の場合)  
既存住宅の省エネ改修への補助

詳しくは県HPをご覧ください。



支援の例)

例1 今あるお住まいを**ZEH水準**で改修した場合



例2 今あるお住まいを現在の**省エネ基準**で改修した場合



❁ 支援には条件がありますので、詳細は担当までお問い合わせ願います。

❁ このほか、県産木材を使用した場合にさらに支援があります。

【問い合わせ先 県土整備部建築住宅課 住宅計画担当 019-629-5934】

# 【事業紹介】岩手山の噴火対応を目的とした「火山砂防事業」について

盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

岩手土木センターでは、「岩手山噴火対応火山砂防計画」に基づき、岩手山麓において、**火山砂防事業（火山砂防堰堤の整備）**を推進しています。

現在、県内で火山砂防事業を行っているのは岩手土木センターのみであり、本事業の背景や目的、現在の進捗状況等について御紹介します。

## 1 岩手山の状況と火山砂防事業について

岩手山は気象台が常時噴火活動を観測している活火山であり、1998年に火山活動が活発化したことは記憶に新しいところです。

### 近年の岩手山の火山活動

年	内 容
1997年 12月	西側で火山活動活発化
1998年 4月29日	1日に285回の火山性地震を記録
// 9月3日	雫石町滝ノ上温泉南東を震源とする <b>岩手山南西地震 (M6.1)</b> が発生
1999年 5月22日	震度4の火山性地震発生以後、新たな噴気地帯の一部で笹枯れが拡大
2000年	火山活動比較的穏やかに
2001年 7月1日	岩手山東側4ルート入山規制一時緩和
2002年 10月15日	火山噴火予知連絡会において「火山活動全体的に低下」の検討結果発表
2004年 7月1日	岩手山全登山ルート入山規制解除
2011年 3月	東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、山頂の西北西約10kmで地震活動が活発化



火山性地震が頻発し、切迫した状況を背景に、住民の避難警戒対策に資することを目的として「岩手山火山災害対策検討委員会」が設立され、「岩手山火山防災マップ（図1）」が作成、公表されました。

また、岩手山の噴火に伴う種々の土砂移動現象から住民の生命・財産等を守るため「岩手山火山砂防計画検討委員会」が設立され、岩手山火山防災マップを踏まえた「岩手山噴火対応火山砂防計画基本計画書（図2）」が策定されました。

同計画書では、今後発生する噴火の規模、噴火による降灰量、噴火後の降雨量等を想定し、降灰が火山泥流となって山麓の保全対象である人家や田畑、工場、農場、道路等に被害を及ぼすことを防ぐため、国の砂防事業、県の砂防事業、国の治山事業及び県の治山事業が連携し、対策（火山砂防堰堤の整備）を実施することとしています。

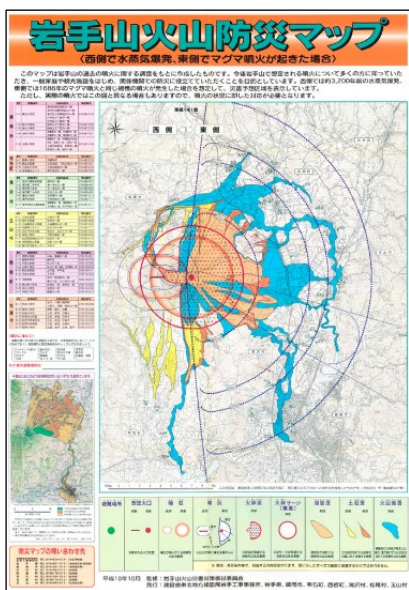


図1 岩手山火山防災マップ（平成10年10月）

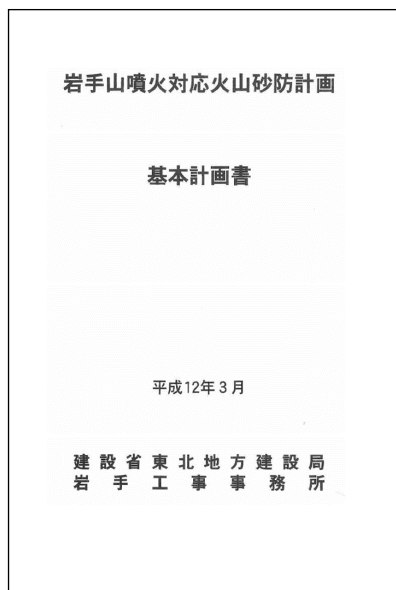


図2 岩手山噴火対応火山砂防計画基本計画書

## 2 火山砂防事業の実施箇所と進捗状況について

前述のとおり火山砂防事業は複数の事業主体で実施しており、各事業主体の役割分担（事業実施箇所）は図3のとおりです。

県の砂防事業の箇所は図3に黄色で示す溪流であり、八幡平市内には北から平笠西沢、平笠東沢、屋敷沢、スキー場南沢、外水沢及び平の沢の6か所、滝沢市内には滝の沢の合計7か所が存在します。

また、県の砂防事業のうち、平笠西沢、平の沢及び滝の沢の3か所は完了しており、現在は、残る平笠東沢、屋敷沢、スキー場南沢及び外水沢の4か所で、岩手土木センターが事業を実施中です。

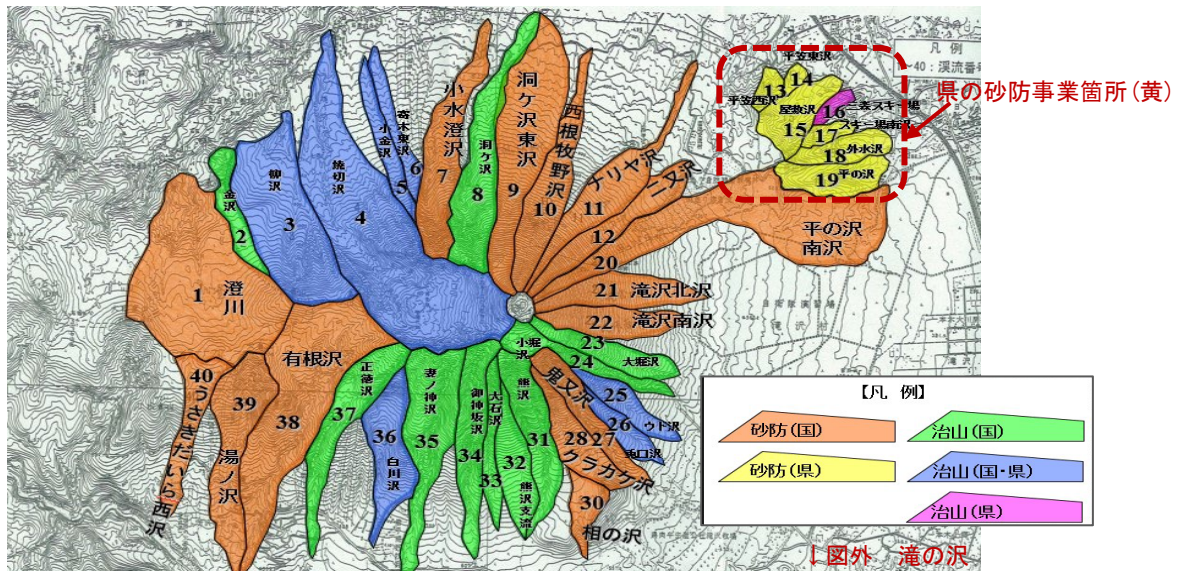


図3 岩手山噴火対応施設整備状況図

## 3 岩手土木センターの事業実施状況について

箇所名	事業の進捗状況
(1) 平笠西沢	・完了（事業期間：平成22年度～26年度）
(2) 平笠東沢	・令和3年度事業着手（工事用道路兼管理用道路L=160mを施工） ・令和5年度～7年度にかけて、本体工事を実施予定
(3) 屋敷沢	・令和4年度測量地質調査設計業務を実施。その後、用地補償、対策工事実施予定
(4) スキー場南沢	・令和4年度工事用道路及び付替道路に着手予定 ・令和5年度～7年度に本体工事を実施予定
(5) 外水沢	・令和4年度～6年度に基礎工（地盤改良）を実施予定
(6) 平の沢	・完了（事業期間：平成21年度～令和2年度）

岩手土木センターの火山砂防事業は、地域の安全・安心に資するため、事業に関係する皆様や事業箇所の近傍にお住まいの皆様の御理解、御協力をいただきながら、引き続き、事業を推進していきます。



堰堤下流から撮影



堰堤左岸から撮影

### 完成した火山砂防堰堤の例

- 【箇所名】 平の沢
- 【形式】 不透過型堰堤
- 【堤高】 11.5m
- 【堤長】 188.0m
- 【堆砂量】 45,440m<sup>3</sup>